

## 「花いっぱいになあれ：プランター整備」レポート

日 時：2017年5月30日（水）9：00～10：30

場 所：2号館エントランス

参加者：人間発達学科2年 8名、教職員 3名 計11名

この時期、毎年恒例となっている行事です。2号館エントランスの5台あるプランターのうち3台に花を植えました。残り2台には昨年植えたカモミール、ミント、紫ラン、アスパラ、が元気に芽を出しましたので、今回は手を加えません。当日は曇り空で、気温もそれほど高くなく、外仕事にはもってこいのお天気となりました。実際に体験していないことは子どもにも教えられない、ということで、小学校の先生を目指す学生が集まってくれました。元センター長の宇野先生にお越しいただき、植え方をご指導いただきました。



**【準備作業 9：10～】**花を植える前の土づくりを行います。古い土を掘り起こし、中に残っていたチューリップの球根を集めてもらいました。そこに肥料を加え、その上に新しい土を追加します。プランターの底には実は発泡スチロールをちぎったものを敷き詰めておりますが、その理由を説明しつつ進めました。

**【花植え 9：30～】**種類は次の通り8種類で、13株準備しました。ミリオンベル×2、ペゴニア×2、ランタナ×2、ゴールドコイン×2、デージー、アンドロサセ・スターダスト、なでしこ、トマト×2

根をほぐしてから植えるのがポイントです。トマトを植えるプランターの底が壊れる、というハプニングがあったりもしましたが、石やガムテープで補強して再利用

しました。教える立場となった場合、臨機応変な対応が求められることも分かったと思います。

**【草取り 10：00～】**残り時間で、センターで手入れをしている花壇の草取りも手伝ってもらいました。みなさん悩まされていると思いますが、今はスギナの生長期。地下茎を絶つようにスコップで取っていきます。みんなでするとあっという間に終わることができました。また、ミミズが多く見付き、よい土であることが証明されました。

**【まとめ 10：15】**シャベルの手入れ後、ひとり一人から「土をどのくらい盛るか、肥料の量や混ぜ方、根っこをほぐし方など、細かい作業を知れた」「現場でどう対処すればよいか学べた」「祖父のやっていることを今後手伝いた

い」「雑草取りの理

由が分かった」といった感想をいただきました。水やり当番も学生が決めていましたので、今後ご協力いただきたいと思います。

5月22日は国際生物多様性の日です。その日の前後に植樹を行うグリーンウェイブ活動というものがありますが、それに貢献するまではいかなくとも、今日の行動がどうつながっていくかを考えるきっかけとし、小学生を指導する際に役に立ててもらえればと、自然や生き物の多様性を育ててきた緑の地球を存続させるために自分からできる「5つのこと」という環境省パンフレットを配付して、今回の企画は終了しました。

